

6年（現中学1年）

○よい状況と考えられる内容

国語：「漢字を読む」「部首の意味理解」 社会：「歴史上の人物についての知識・理解」
算数：「分数の計算」

○指導・改善が必要と考えられる内容

国語：「同じ訓の漢字の使い方」「段落の関係から説明文の組立てを理解する」
算数：「立体の体積」「平均の意味を活用して考える」

<生活・学習意識調査結果>

- 朝食はほとんどの人が食べてきている。
- 寝る時刻が遅い児童がいる。
- 読書をする時間が少ない。
- 昔の出来事や人を扱ったテレビ番組をあまり見ていない。
- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりしようという意識がやや低い。

<今後の取組>

さらに伸ばしていきたい点として

- 国語では、書く内容を考え、段落などに気をつけながら文章を書く力をつけていく。
- 社会では、地域・産業・歴史など、社会的事象についての知識・理解を深めていく。
- 算数では、ドリル学習などを通して、計算する力を伸ばしていく。
- 理科では、観察や実験を通して、自然事象についての知識・理解を深めていく。

指導・改善が必要と考えられる内容

- 国語では、読書量を増やし、説明文や物語文の読み取る力をつけていく。
漢字を書く力、言葉のきまりや表記のしかたの指導を継続していく。
- 社会では、学習問題の解決に向け見通しを立てて追究し、その結果を整理したり、表現したりする力を伸ばす。
- 算数では、身につけた知識・技能を活用して、問題を解く力をつける。
- 理科では、身の回りの自然事象から問題を見つけ、学習した内容を日常の生活と結びつけて考えられるようにする。

生活と学習の関連について

- 食事、睡眠などの好ましい生活習慣を継続していく。
- 普段の家庭学習の中に、読書や、興味あることについて自分で調べたり確かめたりする学習を取り入れていく。
- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりする機会を多くもつようにする。